

## タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和6年9月23日(月・祝) 午前10時～11時45分  
場 所 大井会館(大井本町町会)  
参加者 27人



### 主な意見等

- 参加者 市長から今後20年の見通しや再スタートのお話を伺ったところ、防災に関してはすでに進行中の水害対策に感謝しています。
- 一方で、防犯については防犯カメラの設置を提案いたします。私自身が高齢であることから、防犯カメラによる安全面の改善を期待しています。
- また、三芳インターの開通により交通量と渋滞が増え、特に朝の8時頃に東台小学校付近の国道254号線の信号待ちでの渋滞や無理な追い越し行為が目立ちます。追い越し行為は黄色信号で止まった車を赤信号になっているにも関わらず無理に追い越すという大変危険なものです。そのため、朝の時間帯に東入間警察署の警備と取り締まりを希望いたします。
- 市長 防災に対する評価に感謝いたします。防犯について、犯罪発生件数は減っていますが、軽犯罪や特殊詐欺被害は増加傾向にあり、市民から防犯カメラ設置の要望が寄せられております。防犯カメラについては小型化され、精度も上がり管理もしやすくなってきています。今後はコストが下がれば予算内で設置場所を増やし、効果的な設置を民間企業とも協力して検討していきたいと考えています。
- 道路問題については、東台の信号については力を入れて取り組んで

おり、地権者の協力を得て対応していきます。また、黄色信号で止まった車を追い越す行為は許されないもので、警察に対して警察官の配置を含む対策を検討するよう伝えます。

東入間警察署長とも交通事情の課題を話し合った経緯があり、情報提供に感謝いたします。これらの問題については、個々人のモラルの問題でもあるため、警察も含めた取り組みが必要です。貴重な情報をありがとうございました。

参加者 家前の大きな排水溝が詰まった際、大井総合支所の職員が見に来てくれました。最初はすぐの対応が難しいとの話でしたが、後日工事の方が来て対応していただきました。最初の対応が即座には出来ないと伝えられたため、対応していただいたことに感謝します。この場を借りてお礼を申し上げます

市長 ご丁寧にお礼いただきましてありがとうございます。少し説明が不十分でもう少し丁寧にお話ししていれば皆様を安心させることができたとと思います。その点について申し訳ございませんでした。

参加者 国道への道路が非常に狭いことが問題で、早急な対応を強く求めています。特に西口への道路も狭く、改善を切実に願っています。

市長 切実なご意見のお寄せいただき、誠にありがとうございます。その場所は以前から懸案となっており、速やかな対応が困難であることをお伝えしなければなりません。しかしながら、皆様からのご意見は大切に考えて参りますので、今後の参考とさせていただきたいと存じます。

参加者 大井会館前の狭い坂道について、交通量が多い現状を指摘させていただきます。特に 254 号線の工事による混雑時には、抜け道として車が多く通り、上下からの車の来往により滞留が発生している事実を認識しております。ただし、即時の拡充は難しい状況はあるかと思しますので、今後の改善策として検討をお願いいたします。

市長 大変ありがとうございます。以前に開かれたタウンミーティングでも、大井会館前の道路についてのご意見がご提出されました。その点については、すぐに対応できる状況ではございませんが、皆様からの貴重なご要望としてしっかりと受け止め、誠実に検討して参りたいと考えております。

参加者 地域の組織率が年々低下していることについてお伝えします。8月3日に納涼祭を開催し、その際の来場者数は 1,000 人を超えるもので

した。そのうち4割は町会に入っているが、6割は入っていないという現状がございます。町会としても様々な策をとり、町会への加入を勧めておりますがなかなか加入に結び付かず厳しい状況です。私が住んでいる地域の戸建て住宅は9割ほど町会に入っております。そうすると町会で顔見知りになることで不審者に気が付きやすく抑止力になり、こういった利点もございます。

もう1点、先ほどお話を挙がりました会館のそばの道について、先ほど道路を広くできないかという意見もありましたが道路を拡幅すると今度は交通量が増えるという問題も出てくると思います。

市長 道路を拡幅すると、これまで狭い道を使いたくない人が使いやすくなることから交通量が増えることとなります。交通量が増えると、一定以上の幅がないと歩行者にとっては不便になる可能性があります。

また、町会への加入率については市全体で同様の課題となっております。東日本大震災の際にふじみ野市では大きな被害はなかったものの、エレベーターや水道が止まるなどの問題があり、自治組織の重要性が認識されました。共働きの世帯では自治組織に参加することは手間がかかると思うかもしれません。しかし、自治組織は見守りや災害時の助け合いの為に必要な組織です。他の町会のタウンミーティングで話を聞いた若者は、最初は自治組織には参加しないつもりだったそうです。しかし、被災地でボランティアをした結果、自治組織の大切さを理解し、参加することになりました。その若者からは「市役所が自治組織への加入を促進する活動をしてほしい」という意見が出ました。これからも、さまざまな困難に立ち向かうためには、皆で考え、行動することの重要性を伝えていきたいと思います。また、行政としても、企業や組織と協力し、自治組織への参加を増やす活動を進めていきたいと考えています。

参加者 その道について一方通行にすることはできないのでしょうか。

市長 一方通行という方法はとることはできるのですが、これまでに一方通行にした道路では、交通量が増えるのと車の速度が上がるという事例がありました。そして、一度一方通行になると元に戻すのは難しいです。一方通行にすることは慎重に検討すべきであると考えます。

参加者 街路樹についての問題をお話しします。東原小学校前のセイムス周辺の住宅地では、区画整備の際に沢山の樹木が植えられました。しかし、地元の造園業者が、住民から枯葉の苦情があるという理由で、真

夏の日陰が欲しいタイミングより前に大量に剪定している事実があります。通学路や散歩道としても利用されるこの道が、極端な暑さの中、必要な日陰を提供する樹木が剪定されている状況です。剪定を行うのであれば、そのタイミングについてより慎重に考えてほしいと思います。

約 10 年前に、虫害のために根元から 3 本の樹が伐採され、コンクリートで埋められた事例がありますが、その場所に新たな樹木が植えられることなく、その理由についても理解できない状況です。

市長 伐採の理由については一概には述べられませんが、樹木の老化や内部の傷み、枝の落下事故などが考えられます。

街路樹の剪定のタイミングについては、真夏を避けることも可能と考えますが、造園業者の作業スケジュール調整や、一定の時期に剪定する必要がある木もあると思われまます。また、木芯の劣化や日照状況による影響により、一部の木がダメになる例も存在します。地域の皆様の視点は大切に、剪定や伐採する際には十分な説明と適切なタイミングの検討が必要と感じております。この貴重なご意見、ありがとうございました。

参加者 会館の裏の大きな木がどんどん大きくなっていることが少し心配です。枯葉が排水溝を塞いで詰まってしまうことを懸念しております。

市長 民間の地権者が所有する私有地に関しては、危険な状況の場合には、剪定や伐採をお願いするような声掛けが必要になるかと考えております。

参加者 国道 254 号線沿いの側溝が傷んでいる部分があるため、交換をお願いしたいです。

市長 場所により国道は県の管理となるため、場所を確認し、県の管理である場合はその旨をお伝えします。

参加者 坂道を三芳町方向に進んでつながる道路は交通量が非常に多く、4メートルの道幅が厳しい状況を作り出しております。近くの民間企業が倉庫の増設工事の計画をされており、企業の方から挨拶頂いた際に交換部分の計画があることを知り安心してあります。それでも、交通量の多い道路のため、何とかすれ違えなくはないが、厳しい状況のため考慮していただきたいです。

また、セイコーモータースクールから東台小学校の方へ向かう道路

は、信号もなく安全確認が難しくなっています。上沢整形外科から鶴瀬駅西口までの道路は整備されており、交通量が増していますので、改善をしてほしいです。

公共下水道の整備について、東台地区については不十分な状態であるという問題があります。東台小学校では公共下水道本管が埋設されていますが、朝日住宅以外の地域ではまだ利用できていません。これについては受益者負担となるため、市側の考え方や解決法について知りたいです。さらに、東台地区は都市計画道路が引かれているエリアで、農地として知られていますが、人口減少の時代においてこの地域の住宅整備が難しくなっています。従って、行政側が東台の将来計画についてどのように検討しているのか確認したく思います。

市長 セイコーモータースクールから丸康園に出る道路の見通しが悪いという意見が出ており、これについては、地権者の協力をいただきながら検討したいと思います。

また、公共下水道の件については、旧上福岡市と旧大井町ともに全域整備が行政の計画とされてきました。しかし、現状は市街化区域ではほとんど完成していますが、調整区域の整備はまだ確定しておらず、県からは計画の見直しがあるか求められていました。これまでは「いつかは整備する」と言われてきましたが、具体的な進行は見られませんでした。そのため、再度調査を実施したところ必要であることがわかりました。公共下水道の整備に関して、一定の敷地がある人は受益者負担が高くなりますので、負担軽減策を用いて、受益者負担額をできるだけ抑えるような取り組みを行ってきた経緯があります。

東台地域については、東台小学校ができるときに区域外流入という形で一部地域を対応しております。接続していくうえで、流入量などの計算など検討すべき事項がありますので、どういう形でできるのか今後考えていきたいと思いますが、現在作っている順番で接続を進めていくことになるかと思っています。

東台地域全体の見通しについて説明します。東原小学校の大規模化の整備と並行して、東台小学校も整備を行いました。その際、学区編成をもっと徹底的に行うべきだった反省があります。しかし、東台地区の地権者の方々は区画整理に消極的で、開発が進まないという児童数は増加しないという状況でした。また、小規模学校で育った子どもたちが中学校へ進学した際に、なじみにくいという問題も見受けられま

した。この問題については保護者の皆様の意見も頂きながら適切な規模について議論しました。来年の4月から東台小学校は休校という扱いとなります。避難場所や地域に開放したりするために、学校という位置付けは維持することが必要であるので維持していく考えです。今後、東台地域の開発や公共下水道を含めて進めていくことについては、全体のバランスや地域に見合った適切な土地活用や発展を考慮しながら取り組んでいきたいと思っております。